

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

|        |  |           |   |
|--------|--|-----------|---|
| 行事ID   | C006   | 行事名       | ケーブル・アワード2021 第14回ベストプロモーション大賞  |
| 行事形式   |  | 主催団体      | 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟  |
| 開催日    | ●作品募集期間：2021年2月1日～3月1日<br>●受賞発表期間：2021年6月4日～   | 開催場所      | オンライン開催（※当初は東京国際フォーラムでの贈賞式を予定していたが緊急事態宣言に伴い中止）  |
| 行事参加者数 | ●応募作品数：167作品（80事業社）<br>●一般投票数：2,101件<br>●サイトアクセス数：2,385件（2/1～7/28）<br>※特設サイトトップページのアクセス数 | WebサイトURL | <a href="https://www.catv-jcta.jp/jcta/iframe/catv_award2021/index.html">https://www.catv-jcta.jp/jcta/iframe/catv_award2021/index.html</a> |

## 行事実施概要・アピール等

### ■実施概要

<作品募集> 2021年2月1日～3月1日

<募集部門> ①【チラシ部門】 ②【映像部門】 ③【グッドプラクティス部門】

<テーマ> 「新しい日常、新しい生活、ケーブルテレビが創るニューノーマル」

<応募数> 167作品（内訳：チラシ部門48作品、映像部門48作品、グッドプラクティス部門71作品）

<審査> 予備審査を経た57作品が本審査に進み、外部有識者7名による本審査会を5月14日に開催。今回から対象を改めた「映像部門」の力作は審査員の評価も高く、グランプリを出す結果となりました。また「グッドプラクティス部門」においては甲乙つけがたいと、例年優秀賞2作品選定のところ3作品選定、アンバサダーの小島よしおさんが選定した特別賞と合わせ、最終的に13作品の受賞となりました。

### ■受賞結果

- ・グランプリ：(株)Goolight 『田中浪が表現する信州須坂プロモーション』（映像部門）
- ・準グランプリ：(株)インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ 『やっぱりテレビっておもしろい!』（チラシ部門）
- ・準グランプリ：入間ケーブルテレビ(株) 『食べて応援！スマイルご当地便』（グッドプラクティス部門）
- ・特別賞：ひまわりネットワーク(株) 『あって良かった！ひまわりアプリ』（映像部門）

### ■アピール

ケーブル・アワードは、ケーブルテレビ事業者による各地での情報通信を活用したプロモーションや地域貢献活動を顕彰しています。

業界全体の取り組みの資質を高め、地域における情報通信の振興に寄与しています。

